

文化財防火デーにちなみ消防訓練実施

昭和 26 年 1 月 26 日早朝に、法隆寺の金堂の壁画の大半が焼損したことで、昭和 30 年に文化財防火デーが制定されました。金城資料館自衛消防隊による防火訓練は、昭和 45 年から毎年実施しています。

今年は、文化財防火デーである 1 月 26 日に、消防総合訓練(避難・誘導、消火)を実施しました。急な積雪の為除雪作業の後に消防訓練を実施、その後館内ガイド研修会を行った。



「古い道具と昔の暮らし」

1 月 23 日(水)に、雲城小学校 3 年生 27 名が民具見学で金城民俗資料館へ来館して、「古い道具と昔の暮らし」をテーマに学習しました。織物(紙布、麻布、絹、木綿)、仕事着、寝具、農具、紙漉き用具、山仕事(木こり用具、炭焼き用具)、飲食用具など館内のガイド説明の後、民具のスケッチ、質問など。特に囲炉裏の間での体験学習に関心が高かったようです。嫁入り駕籠の体験もしました。後日、来館された全員からお礼状をいただきました。



雲城小学校 3 年生、民具スケッチをしている様子と当日の集合写真

浜田開府 400 年タイアップ企画展

「たたら製鉄と港・浜田」開催中！

浜田市金城歴史民俗資料館で、ただいま浜田開府 400 年を記念して、「たたら製鉄と港・浜田」をテーマに特別展を開催中です。会期は、12 月 27 日(金)まで。開館日は、土・日曜日(9 時—17 時)です。

古代から脈々と承けつがれてきた「たたら製鉄」は、今から 120 年前まで稼働していた。四世紀前半の千年比丘一号墳から出土した弥生期の砥石は、鉄器を研いでいたものと思える。永元元年には、「黒金」という製品名で年貢注文がなされていた。南北朝・戦国期の戦は、鉄山地域の攻防の戦の歴史である。

今回の特別展は、港・浜田を介して遠くは、因幡・出雲・江津海岸の砂鉄が輸入され、精錬された銑鉄は、北前船で山形・新潟・山口・兵庫・堺・熊本・福岡など全国へ流通していたこと。たたら製鉄は、中国山脈を越えて、安芸国と石見国の経済活動が活発に行われ、各国の藩札が流通していた。砂鉄・銑鉄の運搬は、馬飼育農家が殆ど参加して駄賃稼ぎで地域経済を盛り立てていたことなどをパネルで展示。

来館者には、もれなく展示解説書(カラー版、A5 版 16P)を差し上げ、たたら製鉄にご理解をいただいています。詳細のお問合せにつきましては、指定管理者・西中国山地民具を守る会 ☎090-4697-2818 迄。



特別展『たたら製鉄と港・浜田』の展示模様

【会員周知】5 月 1 日から、企画展が始まっています。企画展のガイドに併せて、来館者へ「たたら製鉄と港・浜田」のガイドブックを手渡し、併せてアンケート調査のご協力を要請してください。

文化財保護活動実施

7 月 21 日(日)、午前 8 時から正午までの 4 時間、市指定史跡「笠松峠の畳石路」の草刈り清掃活動を実施しました。草刈は、麓と頂上の 2 班に分かれて、全長 1,200m の畳石区間を草刈りに併せて、倒木の始末など街道を清掃しました。

同じく、金城資料館(2 館)周辺の草刈も併せて実施しました。当日は参議院投票日でしたが、10 名の参加をいただきました。



作業を終えて



笠松峠にて

来館者からのメッセージ

金城資料館へ来館された皆様方より、次のコメントが寄せられています。参考にして対応願います。

【感想・コメント】

- ① 飛び込みで来訪したにもかかわらず開館いただき丁寧な対応いただきました。展示が豊富で、判りやすく、見やすいものになっています。
- ② 説明していただきとてもよくわかりました。民具の数、文化財指定のものも多く、とても見ごたえがありました。能海寛さんのことを人柄にも知ることができ、勉強になりました。
- ③ 次回は、能海さんのことをもっと知ってから再度来てみたいです。
- ④ もう一度、深く知りたいです。
- ⑤ いつも、いろんな情報を勉強させていただきありがとうございます。
- ⑥ 思ったより良かった。
- ⑦ 直接、説明をいただき有難かったです。
- ⑧ 休館日にもかかわらず、詳しく説明いただきました。ありがとうございました。
- ⑨ 貴重ですばらしいものが集積されています。展示もすばらしい。
- ⑩ 浜田市に住みながら初めて伺いましたが、大変良かったです。
- ⑪ 県内のたたら関係の資料館に足を運んで見ましたが、村の様子などが、ここまでわかりやすい図面で見たことは初めてです。もっと知らせてほしいと思いました。
- ⑫ 一度では理解できないので、また来ます。
- ⑬ 年齢柄、郷土の歴史を伝える使命があると、今だに、果たせず学んでいます。
- ⑭ 今後ともよろしくお願いします。
- ⑮ とてもわかりやすい展示だと思います。
- ⑯ 大変充実した展示でした。ご説明いただき勉強になりました。
- ⑰ たたらの現地をまわれるように案内板をたててほしい。
- ⑱ 国内にわかるような PR 活動が必要だと思います。
- ⑲ 大変勉強になりました。ありがとうございました。全国にさらにアピールいただければと思います。

民具を守る会「郷土石見文化賞」受賞が決定

民具を守る会の半世紀に亘る文化財保護活動が認められ、9月29日開催の石見郷土懇話会研究大会の席で、「郷土石見文化賞」の受賞が決定されました。関連記事は、8月26日付、山陰中央新報に掲載周知されました。研究大会の会場は、江津市嘉久志町の地場産業振興センターで開催されます。開会式10:30-11:00に文化賞の授与があり、引き続き11:00-15:00研究発表(4名)が行われます。

第45回文化講演会

現在、金城歴史民俗資料館で開催中の企画展「たたら製鉄と港・浜田」に関連した「たたら製鉄」に関する講演会を下記の通り開催します。

記

日時 11月17日(日)13:00-15:00
会場 ときわ会館・浜田市金城町波佐
演題 「石見地方のたたら製鉄と流通」
—鉄山の風水と金屋子信仰—
講師 隅田正三
主催 西中国山地民具を守る会
入場料 無料
※会員の皆様は、日程を確保しておいてください。



第23回常民文化研究講座『民具を語る・5』ご案内

開催日時 2019年10月7日(月) 13:30~16:00
開催会場 神奈川大学横浜キャンパス 9号館 911室(日本常民研究所)
発表者とタイトル

隅田正三(西中国山地民具を守る会長)

「実践民俗学50年を振り返って—民俗資料回想セラピーの取組み—」

北村春香(浜田市金城民俗資料館・非常勤学芸員)

「金城民俗資料館所蔵の紙布と紙漉き道具—他に類を見ない紙民具の量と質—」

主催 神奈川大学日本常民文化研究所

問合せ先

神奈川大学常民文化研究所

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

TEL 045-481-5661(内線 4358) FAX 045-413-4151

その他の情報

参加料無料・事前申し込み不要です。直接会場へお越しください。

第 25 回郷土石見文化賞

9 月 29 日、江津市の石見地域地場産業振興センターを会場に、石見郷土研究懇話会主催の江津・桜江支部合同研究大会が開催されました。開会式には、来賓として、山下修江津市長、小笠原隆江津市教育長を迎えて開催されました。開会式の後、郷土石見文化賞の受賞式が行われ、西中国山地民具を守る会が受賞の栄に浴しました。

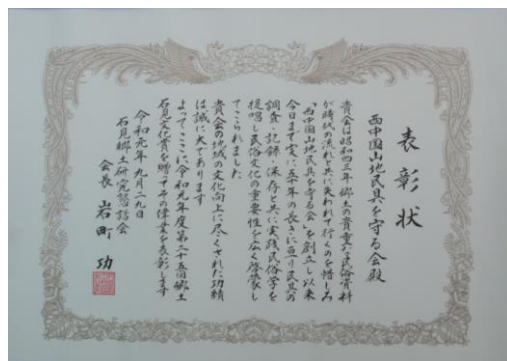
民具を守る会の活動は、昭和 43 年に会を結成して以来、民俗資料の調査・研究・収集保存・活用・啓蒙活動を 50 年間に亘り実施してきた文化財の保護団体です。

特に、「実践民俗学」を提唱して、旧製法による「紙漉き習俗」の再現。「農具を用いた労働慣行」の再現。「麻の栽培」と「麻蒸し」記録作成。古老による「トロヘイ」の復元・記録作成。古代「たたら製鉄」の再現実験。「綿花の栽培」記録作成。など 11 種類の聞き取り調査に基づく、失われた労働習俗を再現して、記録に留め、活用するという主旨の活動です。

これらの活動の他に、文化財全般に亘る保護活動で、史跡笠松峠の畳石路の測量調査、波佐一本松城の平板測量調査、千年比丘一号墳の学術調査、長田郷遺跡の調査などや文化財講座・文化講演会を四五年間に亘り開催してきました。

現在、浜田市から「金城資料館」の指定管理を請け、金城民俗資料館において、「民俗資料回想セラピー」（認知症の予防・抑制のためのプログラム）を実施して、高齢者のグループ、介護福祉関係者の利活用を頂いている。プログラムは、①民俗資料の見学。②民具を用いた労働慣行を視聴覚学習。③民俗回想座談会。所要時間 2 時間 30 分を希望する団体へ、金城資料館では、地域貢献「プラス・ワン活動」として実施しています。

その他に、平成 17 年度から実施している「地域まるごと博物館」は、他団体とタイアップして、金城資料館（浜田市金城民俗資料館・浜田市金城歴史民俗資料館）を核として、半径 1 km の範囲にある観光資源全体をミュージアムとして、「カルチャーミュージアム（学べる博物館）」運動を推進しています。昨年、50 年周年を迎えた西中国山地民具を守る会は、記念誌『実践民俗学 50 年の歩み』（A4 カラー版・40P）を発刊しました。



郷土石見文化賞



研究大会の様相



第 45 回文化講演会

11 月 17 日(日)、午後 1 時からときわ会館において、第 45 回文化講演会が開催しました。演題は、「石見地方のたたら製鉄と流通」―鉄山の風水と金屋子信仰―で、講師は地元の隅田正三氏が地元の鉄山経営者所有の 6,000 点のたたら文書から、たたら製鉄の歴史的経緯と江戸時代のたたら経営と流通をパワーポイント画像 250 枚のデータを駆使して、たたら製鉄を判り易く解説した。遠くは、徳島県、広島県からの 35 名の参加者もあり、たたら製鉄に関する感心の高さが伺えました。講演後は、金城歴史民俗資料館で、企画展「たたら製鉄と港・浜田」の見学会も行われました。



企画展「たたら製鉄と港・浜田」12 月 29 日まで

会 期：5 月 1 日―12 月 29 日(日)

会 場：浜田市金城歴史民俗資料館

開館日：土・日曜日 Am9:00―Pm5:00

入館料：大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円

2 館共通券、団体割引 25 名以上

隣接の金城民俗資料館では「民俗資料回想セラピー」も行っています。

※ 団体で展示ガイドを希望される場合や、平日に来館をご希望の場合は事前にご予約下さい。

☎ 090-4697-2818 (西中国山地民具を守る会)



たたら資料展示室の一部

文化財防火デーにちなみ自衛消防訓練

文化財防火デーにちなみ、1 月 25 日(土)午前 10 時から浜田市消防本部東部消防署金城出張所(野上・中谷・佐々岡)の指導の下、金城資料館自衛消防隊員 9 名による消防総合(避難・誘導・通報・消火)訓練を実施しました。

金城資料館の防火訓練は、昭和 48 年開館以来、46 回、毎年 1 月の第 4 土曜日に文化財保護活動として実施しているものです。



有事に備えて 2 車両が待機



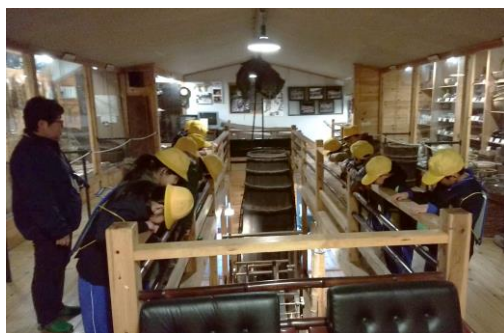
避難誘導訓練後の評価ミーティング

消防訓練後、会場をときわ会館に移して、ガイド研修会「民俗資料回想セラピー」を実施して、資料館が目指す「プラス・ワン活動」活かす目的で実施しました。

金城資料館で民具学習

浜田市立雲城小学校 3 年生(16 名)が 1 月 28 日(火)金城民俗資料館を訪れ「変わってきた人々の暮らし」をテーマに学習しました。民具を用いた体験や二階の吹き抜けから一階に展示してある「地機」や「高機」の機織り機の仕組みを真上から見学したり、嫁入り駕籠に乗ったり、囲炉裏端体験など行った。

民具を観て、関心のある民具をメモに取り判らないことは活発に質問をしていました。※写真は雲城小学校 3 年生の皆さんの見学と集合写真です。



新型コロナウイルス感染予防について

金城資料館への来館者へ「ケア・フォー」によるウイルス除菌スプレーを入り口付近に配備しております。手洗いの励行と除菌スプレーにより感染予防にご配慮願います。

新型コロナウイルス感染防止のため
入館時に、ご使用をお願いします。
金城民俗資料館

この「ケア・フォー」は、優れたウイルス除去、除菌効果があり、有効成分である亜塩素酸水は有機物と反応しにくく、有機物残渣下でも高い殺菌・除菌効果があります。漂白作用や腐食性もなく安全に使用できます。



金城資料館の休館と土・日出勤者の対応について

金城資料館は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、浜田市内の全ての資料館が休館となりました。期間は、5月の連休明けの5月7日までです。

資料館当番の皆様は、休館中でも、出勤していただき、平素、行き届かなかった場所の片づけ、室内外の清掃、ガラス磨き、館庭の草刈・剪定、企画展の準備等の自分に見合った業務を遂行していただきます。

なお、この際に事務室の図書の閲覧を頂き、知識の習得をお勧めします。

※ HP「波佐ネット」で休館を周知しています。

<http://hazaway.com/culture/folk-museum/>

企画展「考古資料から学ぶ金城の歴史」

5月2日から、開催予定しておりました企画展を1カ月先延ばしして、6月6日からに変更します。

記

会期：令和2年6月6日(土)―12月27日(日)

※ 企画展の一般周知は、未だ予告もおこなっていないので、5月に入ってから周知します。

浜田市内資料館の臨時休館について

浜田市内資料館につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、左記のとおり臨時休館とさせていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

臨時休館の期間
令和二年四月十四日(火)～五月七日(木)

令和二年四月十三日 浜田市教育委員会 文化振興課
連絡先 (0855) 251973

企画展「考古資料に学ぶ金城の歴史」

会期：6 月 6 日(土) ～ 12 月 27 日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為 5 月 31 日まで、金城資料館は、休館としていましたが、6 月 1 日より開館することといたしました。ご来館に当たっては、マスクを着用ください。

当初は、5 月 1 日より企画展を計画しておりましたがコロナ対策で 1 カ月間、開催がずれこみました。6 月 6 日(土)より企画展「考古資料に学ぶ金城の歴史」を開催します。金城町内の 16 遺跡から出土した考古資料は、縄文時代から各年代が継続しており、通史で歴史学習が出来ます。

「波佐ネット」第 150 号でお知らせしている浜田市指定史跡(2020.3.19 付指定)「千年比丘 1 号墳」(4 世紀前半・石見地方最古の古墳)出土品の速報展も兼ねて開催します。

会 場 浜田市金城歴史民俗資料館(浜田市金城町波佐)

開館日 土・日曜日(月～金曜日に希望の方は事前にご予約下さい。) TEL 090-4697-2818

開館時間 午前 9 時～午後 5 時

入館料金 大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円。

※ 金城資料館 2 館は、共通券です。



カルチャーミュージアム(学べる博物館)

金城資料館 2 館を中心に半径 1km の範囲に所在する観光資源を丸ごと博物館として見学・学習が出来るカルチャーミュージアム(学べる博物館)としています。

市指定史跡・笠松峠の畳石路。史跡・波佐一本松城。みんなで守る郷土の自然・常磐のカシ林。天然記念物・常磐の大杉・絵馬額 16 面。天然記念物・永昌寺の大杉。尼子経久公の墓。桂迫鉦跡。大潰鉄穴跡。史跡・千年比丘 1 号墳。能海寛顕彰碑・ハクモクレン。能海寛詠歌碑 10 基などがあります。モデルコースとして、次の 5 コースを推奨しています。

【モデルコース】

- ・学べる博物館(カルチャーミュージアム)を訪ねるコース(ミニ講演(考古・歴史・民俗・冶金・自然)がセット)
- ・能海寛歌碑めぐりコースを訪ねるコース(歌碑 10 基を巡る観光コース)
- ・たたら製鉄資料と遺跡を訪ねる旅コース(鉄穴流し場、鉦所跡、鍛冶屋跡)
- ・畳石路と山岳城郭を訪ねる旅コース(笠松峠の畳石路と波佐一本松城を周遊)
- ・能海寛&島村抱月のふるさとを訪ねるコース(能海寛と島村抱月の生誕地・縁の地を巡回)

金城資料館周辺の環境美化活動

浜田市金城資料館・指定管理者の西中国山地民具を守る会は、笠松峠の畳石路の草刈りと資料館外周辺の草刈り奉仕作業を7月19日(日)に午前8時から正午まで実施しました。



企画展用「ガイドブック」を作成

金城歴史民俗資料館で現在、企画展『考古資料に学ぶ金城の歴史』を開催中ですが、この程、「ガイドブック」A4判16Pを作成しました。来館者への企画展ガイドブックとして活用していただいています。

この企画展は、今年春に市指定文化財となった、史跡「千年比丘1号墳」、考古資料「千年比丘1号墳出土品一括」、古文書「金城のたたら関係文書」が加わり、古代から近世までの「黒金」(たたら製鉄)の歴史の流れが、学習できるよう展示しています。小・中学生、一般の方々もこの機会に古代から近世までの歴史の流れを体験していただければ幸いです。



企画展の展示模様

2020 企画展

『考古資料に学ぶ金城の歴史』

会 期：令和2年6月6日(土)～12月27日(日) ※
開館日：土・日曜日(9:00～17:00) ※
(開館日以外は事前予約が必要です。☎090-4697-2818) ※

縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉時代の遺跡から出土した考古資料から古代の生活の営みを追体験してください。

【石皿】 調理具の一つ。主に穀物や木の葉などをすりつぶすのに用いられた。中央部がすり減ってへこんでいるので石皿と呼称している。縄文時代に木の葉や熊掌類をすりつぶしたり粉末にするに用いた。すり石と共に使われた。

浜田市金城歴史民俗資料館

文化財防火デーにちなむ消防総合訓練

浜田市金城資料館自衛消防隊(9名)による消防総合訓練を1月23日(土)午前10時から実施しました。浜田東部消防署金城出張所竹本所長他2名(藤井・野上)隊員の指導の下に避難・誘導、通報、消火訓練を参加者全員が体験しました。

この訓練は昭和45年から文化財防火デーにちなみ毎年1月の第四土曜日に継続して実施しているものです。資料館に保管している有形民俗文化財(国・県指定)を火災から守り末永く保存・伝承していくために、これからも尽力することを再認識する一日となりました。

午前11から、ときわ会館でガイド研修会を開催しました。



次年度の企画展は、「文豪・島村抱月パネル展」

令和4年1月10日は、島村抱月生誕150年を迎えますので、令和3年6月5日(土)から「島村抱月生誕150年記念パネル展」を浜田市金城歴史民俗資料館で開催します。

資料館勤務者は、勤務日には冊子『文豪・島村抱月』を一読してガイドに活かしてください。

民具通信

第53号 2021年2月24日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

「波佐まるごと博物館」スタンプラリー

浜田市金城資料館の指定管理者である西中国山地民具を守る会では、今年度事業として計画していた文化講演会をコロナ感染予防の為、中止して「波佐まるごとミュージアム」の範囲6箇所的小型記念スタンプを設置することといたしました。

浜田市金城資料館2館を中心に、半径1Kmの範囲に所在する文化財等16箇所を「まるごと博物館」として、他団体とタイアップして平成17年から推進しています。金城資料館を訪れて、まるごとミュージアム巡りを希望される方には、付加価値として、スタンプラリーもお楽しみいただけます。

なお、金城資料館は、土・日曜日のみが開館日です。その他の日時を希望の場合は、事前予約が必要です。事前予約の場合は、TEL090-4697-2818 へお願いします。資料館入館者へは、スタンプラリー帳を贈呈します。スタンプ設置場所は下記の通りです。「波佐まるごとミュージアム」巡りに併せてスタンプラリーをお楽しみ下さい。使用開始は、令和3年4月3日からです。

記

- ① 浜田市金城民俗資料館(図案：資料館、夜着、楮こしき)館内に設置。
- ② 浜田市金城歴史民俗資料館(図案：資料館、二丁鞆たたら、能海寛)館内に設置。
- ③ 天頂山浄蓮寺(図案：浄蓮寺、能海寛顕彰碑、能海寛詠歌碑)浄蓮寺境内に設置。
- ④ 大歳神社(図案：大樋神社鳥居、一本松城縄張り図、能海寛詠歌碑)大歳神社横に設置。
- ⑤ 常磐山八幡宮(図案：八幡宮、大杉、手水鉢、能海寛詠歌碑)八幡宮境内歌碑横に設置。
- ⑥ 普明山永昌寺(図案：永昌寺、大杉、尼子経久の墓、能海寛詠歌碑)永昌寺境内に設置。

【記念スタンプ】 ※「波佐まるごとミュージアム」を巡るコース内の6箇所に設置しています。

① 浜田市金城民俗資料館と歌碑



② 浜田市金城歴史民俗資料館



③ 天頂山浄蓮寺と能海寛師顕彰碑



④ 大歳神社と波佐一本松城跡



⑤ 常磐山八幡宮とカシ林遊歩道



⑥ 普明山永昌寺と尼子経久の墓



※ 6箇所には、スタンプボックスと小型ゴム印。スタンプ台がセットで設置してあります。

波佐小学校3年生の「かべ新聞」

波佐小学校3年生(2名)が3月8日「今と昔の道具」学習で金城資料館の民具を見学しました。

このほど、学習成果として、かべ新聞を作り金城資料館へ届けていただきました。しばらくの間、資料館内で掲示させていただきます。



「今と昔の道具」学習で金城資料館見学



金城資料館へ立て看板寄贈

浜田市在住の長野治喜氏より櫨の立て看板(115cm×50cm)を寄贈して戴きました。早速民俗資料館内にて、活用させていただきます。

「波佐まるごと博物館」 スタンプラリーがスタート

4月3日よりスタンプラリーが始まります。金城資料館など6箇所に写真のとおりポストを設置して巡回して、小型スタンプを押印しながら各所の歴史・文化などが学べるミュージアムとして楽しんでいただきたく企画しました。

スタンプラリー台紙は金城資料館で入館者へもれなく、差上げています。

ポストの中には、小型印とスタンプ台、試し刷り紙がトレーに入れてあります。

